

旧三江線「陰陽連絡100年の夢」プロジェクト調査及び実現プラン策定事業（島根県邑南町）概要版

1. 事業概要

島根県邑南町にて、JR三江線の廃線前から鉄道資産を新たな地域資源として生かすための取組を推進。本事業では、昨年度明らかになったエンジニアツールの事業化可能性やその実現に向けた課題を踏まえ、①旅行者のニーズに見合う魅力的なコンテンツ開発、②コンテンツを安定的に供給できる体制づくり、③情報発信と販売体制づくりの実現を目指し、以下の実施方針等に基づき実施した。

成果	旅行者のニーズに見合う魅力的なコンテンツ開発	コンテンツを安定的に供給できる体制づくり	旅行者がアクセス可能な情報発信と販売体制づくり
実施方針	環境、社会、エネルギー、都市計画、観光の分野からの関わりしるを探る	エンジニアツールに関わる人の裾野を広げる	エンジニアツールに関するワンストップサービスの提供方法を具体化する
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> 各分野の第一人者に対するヒアリング調査の実施 旧三江線沿線地域の現地訪問が予定されており、現地訪問に併せたヒアリング調査のほか、オンラインによる調査等、効果的な実施方法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人の関心呼び、参加動機を育む場としての講演会「エンジニアツールのシンポジウム」と、個別テーマに基づく、座学・フィールドワークを組み合わせた「ガイド養成講座」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> NPO江の川鉄道と連携し、旧三江線沿線地域のエンジニアツールに関するワンストップサービスを提供するための体制・仕組みを構築

2. レガシー形成に関する調査及び検討

2-1. 旧三江線遺構の価値を高めるための調査

■文献調査

以下の文献調査を行い、旧三江線の鉄道遺構の技術的特徴を把握・整理した。

文献	摘要
鉄道高架橋デザイン：建設図書 2023	橋りょうの種類、計上、技術的背景等
第77回令和7(2025)年度土木学会中国支部研究発表会資料 旧・三江線の宇都井高架橋 - その実態と保存活用に向けて (樋口 輝久・岸根 真志・酒井 雄壮・和田 浩)	旧・三江線の宇都井高架橋 - その実態と保存活用に向けて -
第76回令和7(2024)年度土木学会中国支部研究発表会資料 旧三江線の志谷川橋梁・日向川橋梁 - その実態と保存活用に向けて - (樋口 輝久・岸根 真志・酒井 雄壮・和田 浩)	旧三江線の志谷川橋梁・日向川橋梁 - その実態と保存活用に向けて -
令和7年度島根県技術士会発表論文 (著者：岸根 真志)	鉄道遺構を知る・見る・学ぶの醸成に向けて
令和6年度島根県技術士会発表論文 (著者：酒井 雄壮)	旧三江の線 目の字ラーメン橋 (志谷川・日向川橋りょう) の技術的特徴

■ヒアリング調査

以下のヒアリング調査を行い、エンジニアツールの評価、顧客開拓に向けたアプローチ方法等を聴取し、今後の事業推進につなげる示唆を得た。

日時	対象	所属/専門	調査手法
2025年10月21日 11~12時	岩城一郎氏 湯浅陽一氏 石橋奈都美氏	日本大学工学部教授/土木工学 関東学院大学社会学部教授/社会学 日本大学日本大学工学部研究員/土木工学	オンラインヒアリング
2025年10月23日 13~14時	山下博美氏	立命館アジア太平洋大学教授/環境社会学	〃
2026年1月26日 10~11時	束村康文氏	一般社団法人コミュニティーパートナーズ理事/国際交流・インバウンド	〃
2026年1月30日 13~14時	課長 榎武氏 課長代理 相良洋介氏 河野裕美氏	JR西日本地域まちづくり本部 地域共生課 (地域交通企画室) / 鉄道・まちづくり	対面ヒアリング
2026年1月30日 14時半~16時	河野良太氏 板倉卓氏	島根県大阪事務所 / 行政・移住・関係人口	〃
2026年2月7日 11時~13時	長町志穂氏	(株) LEM空間工房 代表取締役/照明デザイン	〃
2026年3月10日 16時~17時	取締役 横山圭氏 小林健太氏	(株) 新建築社 / 建築	〃
2026年3月11日 10時~12時	研究開発推進部長 足立有史氏 環境研究部 研究員 北條紗也氏 副主任研究員 相島健介氏	(株) 安藤・間 技術研究所 / 土木	〃

2-2. 旧三江線遺構の価値をガイドできる人材を養成するための説明会

多くの人の関心呼び、参加動機を育む場としての講演会「エンジニアツールのシンポジウム」と、個別テーマに基づく、座学・フィールドワークを組み合わせた「ガイド養成講座」の2種類により構成した。

■エンジニアツールのシンポジウム

- 日時：2025年9月2日13:15~15:30
- 場所：みさと館 (美郷町)
- 参加者：53人



■ガイド養成講座 (全3回)

回数	日時	会場	講師/内容	参加者
第1回	10月15日 13:30~16:30	座学：口羽公民館 実地：邑南町郷土資料館 (天秤ふいご、たたら遺構等)、神谷棚田	講師：森田一平氏 (NPO江の川鉄道) 内容：江の川流域の歴史、たたら製鉄、三江線の誕生から今後等	7人
第2回	11月12日 13:30~16:30	座学：口羽公民館 実地：宇都井高架橋、日向川橋りょう	講師：酒井雄壮氏、岸根真志氏 (島根県技術士会) 内容：鉄道遺構の特徴や見どころ等	8人
第3回	12月10日 13:30~16:30	座学：石見銀山世界遺産センター 実地：大森の町並み保存地区	講師：長尾英明氏、足立聖氏 (石見銀山ガイドの会) 内容：実際にガイドを受けながら、ガイドを行う上でのポイントなどを学びます	11人

2-3. 地域内連携に向けた連絡会の開催

「陰陽連絡100年の夢プラン」の実現に向け地域内の円滑な連携を図るとともに旅行商品化へ向けた課題を分析・抽出し、販売に繋げるまでの方策を見いだすことを目的とした連絡会を開催した。

回数	日時	テーマ	メンバー
第1回	10月20日 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアツールの可能性と今後の展望について エンジニアツールの推進戦略について エンジニアツールの推進に向け連携可能な取組について 	【行政・鉄道事業者】 邑南町、美郷町、川本町、JR西日本 【建設関連団体】 松江高専、島根県技術士会 【観光事業者等】 邑南町観光協会、美郷町観光協会 川本町観光協会、(公財) 邑智郡広域振興財団、NPO江の川鉄道、NPO伊賀和志江の川鉄道
第2回	2月12日 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアツールの推進体制について 流域が一体となったエンジニアツールの推進方策について 今後の取り組みについて 	

3. 総括

●事業推進を担う新法人の誕生

- 本事業の検討に中心的に関わってきたメンバーによりエンジニアツールの推進を担う新法人の設立に向けた検討が進められるに至った。
- 新法人が持続的な観光地経営の実現の担い手へと成長し、将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる地域・日本のレガシーとなることを期待。

●ガイド人材の育成・組織化

- 島根県技術士会、江の川鉄道、邑南町観光協会の有志により、「三江線&江の川ガイドの会 (仮称)」が発足。
- ガイド人材の育成・確保が進み、新法人の取組みと相まってエンジニアツールの推進につながることを期待。

●エンジニアツールの普及

- 土木、建築、環境社会学、地域経営等の各分野の専門家へ旧三江線の鉄道遺構が有する価値やエンジニアツールの可能性を訴求。共同研究、事業参加の意向を有する専門家等を見出すことができた。
- 新建築、コンクリート学会季刊誌、「インフラの危機 (著者：岩城一郎)」等の媒体で当地域の活動を取り上げてもらうことができ、エンジニアツールの普及に成果。